



【徳川家康公像】  
制作者／神戸峰男

# 徳川家康 岡崎

令和5年度 岡崎市職員採用案内

お問い合わせ先 岡崎市役所 総務部人事課  
〒444-8601 愛知県岡崎市十王町二丁目9番地  
TEL : 0564-23-6092 FAX : 0564-23-6546  
HP : <http://www.city.okazaki.lg.jp/>

# 「どうする！？を 考え続けたい！」



経済振興部観光推進課

**澤田直輝**  
(事務職・平成30年度採用)

観光パンフレットの作成やホームページでの情報発信、ツアー商品の企画など、岡崎への旅行やおでかけのきっかけとなる部分を担当しています。

他にも、映画やドラマなどのロケ誘致や製作支援を行う、フィルムコミッション事業にも取り組んでおり、実際にロケ地に足を運んでもらえるように、「聖地巡り」などの企画も実施しています。

ウィズ/アフターコロナ期は旅行体系も大きく変化しています。常にアンテナを高くし、「岡崎に行ってみたい！また来たい！」と一人でも多くのかたに思ってもらえるよう、その時々ニーズに合った施策を考え続ける仕事にやりがいを感じます。

現在は観光という観点から様々な企画などを行っていますが、今後はスポーツ振興など、より様々な観点から岡崎市の魅力をPRしていきたいです。その上で目指す職員像としては、常にアンテナを張り、アイデアを出し続けていけるような、そんな職員になれたらと思っています！



# ▶ MOVIE

🔍 先輩職員のはたらき方



こども部保育課



YouTube



もっと詳しく!

# 若手の意見が採用され  
市民に貢献できる仕事



上下水道局上下水道部下水工事課



YouTube



もっと詳しく!

# 浸水被害から市民を守る



財務部市民税課



YouTube



もっと詳しく!

# 新人をマンツーマンで  
サポートするチューター制度



こども部こども育成課



YouTube



もっと詳しく!

# 子どもの成長を通して  
自身の成長を実感

## # 岡崎市・ 岡崎市役所

岡崎市は、大正5年7月1日に、県下で3番目、全国で67番目に市制を施行。平成28年には市制施行100周年を迎え、西三河の教育・文化・産業の中心都市として、着実に発展を続けています。

#人口

**384,996人**  
(R4.4.1現在)

#面積

**387.20km<sup>2</sup>**

#職員数

**3,902人**  
(R4.4.1現在)

#男女比率

**男性49.3% : 女性50.7%**  
(R4.4.1現在)

#部署

**107課**  
(R4.4.1現在)

#管理職女性割合

**28.8%**  
(R4.4.1現在)

#年次休暇平均取得日数

**11.6日**  
(R3年度実績)

#時間外勤務時間

**12時間/月**  
(R3年度実績)

#職員出身割合

**市内59.7% : 市外40.3%**  
(R4年度新規採用職員(行政職)実績)



「若手の意見が採用され、  
市民に貢献できる仕事」

私の担当業務は、保育園の入園事務です。入園希望者が定員を上回ることが多いので、保育の必要性の高いかたから順に入園を決定する選考を行ったり、希望者全員が入れるように事務改善に努め係員で話し合ったりするなど、日々奮闘しています。

日々の仕事で見つけた課題の解決策を考えて、積極的に発言した結果、自分の意見が採用され、市民に貢献できたときにやりがいを感じます。例えば、平日働かされている保護者のかたが、市に問い合わせる負担を減らすため、日頃問合せの多い点についてホームページに詳しい内容を載せたり、保育園の空き状況など保護者の知りたい情報を公表したりと「見える化」できるように工夫しました。

その成果もあり、最近は電話や窓口での相談件数が減っているように思い、達成感を得ました。今後も子育てしやすいまちづくりに貢献していきたいです！

現在は、他部署の若手職員との議論を通じて政策提言するプロジェクトに参加し、どうしたら岡崎市が魅力ある暮らしやすいまちになるか考え、夢を膨らませています。今後も新しいことに挑戦し、困難な課題にも向き合っていくことで、幅広い知見を持ったオールマイティーな職員になりたいです。



こども部  
保育課

**平岩知夏**  
(事務職・令和2年度採用)



「浸水被害から市民を守る」

下水道施設は、公衆衛生が向上する汚水施設と、浸水対策として雨水の排除を担っている雨水施設があり、下水工事課では、下水道計画を基に必要な施設の建設を行っています。

一つの施設を建設するためにも多額の費用が必要であり、自分の所属を超えて、市役所内外の様々な組織と協力し、計画から工事までの連携が必須です。指示を待っているのではなく、自ら考えて積極的に連絡調整した結果、組織として大きな工事を完遂できることは大きなやりがいになります。

現在は、担当地区の浸水対策のため道路側溝などに集まった雨水を河川へ排除する施設の整備を担当しています。

岡崎市は平成20年8月末豪雨で大きな被害を受けましたが、近年全国で同様な被害が多発しており、いつ被害が起きてもおかしくない状況です。組織の目標である「岡崎市の浸水被害の軽減」のため、雨水施設の整備を確実に進めていきます。



上下水道局上下水道部  
下水工事課

**牧野 雄大**  
(技術職・平成29年度採用)



「新人をマンツーマンで  
サポートするチューター制度」

財務部  
市民税課

## 伊藤 颯汰

(事務職・令和4年度採用)

毎月行われる面談で日頃の仕事の振り返りやアドバイスだけでなく、不安なことなど何でも相談に乗っていただきました。入庁したてはわからないことだらけでしたが、いつでも頼れるチューターが隣にいることでのびのびと働くことができます。

最初は漠然とした不安と緊張でいっぱいでも、入庁後は様々な研修があり、一から学べます。同期と不安を共有できる機会もたくさんあります。また、研修以外にも通信教育やeラーニング等の自己啓発が充実しているので、自分の伸ばしたい能力に合わせて受講することができて安心です。

財務部  
市民税課

## 永野 里穂子

(事務職・平成30年度採用)

仕事を確実に理解した上で質問に答えられるよう、業務内容についてより深く考えるようになりました。窓口や電話に積極的に出ることが大切と伝えるために、先輩として自ら模範を示さなければと意識しています。チューター制度は、新人とチューターがお互いに高め合える制度だと思います。





「子どもの成長を通して、  
自身の成長を実感」

私は今、育児を楽しみながら、かねてから取り組み  
たかった仕事を任せてもらえています。「育児をする  
から仕事は諦める」「仕事をしたいから育児は諦める」  
のではなく、両方を頑張ることができています。

子どもが生まれてからは、家庭での時間を確保する  
ために、これまでの働き方を見直し、業務を効率的に  
進めることができるように意識しています。特に、ス  
ケジュールや業務改善を意識して働けるようにな  
りました。

家庭では妻と家事・育児をバランスよく分担するこ  
とで、夫婦ともに自分の時間を持つことができるよう  
、子どもの成長や職場の人事異動などで生活様式が変化  
するタイミングごとに妻と家族会議を開き、それぞれ  
の役割を見直しています。

岡崎市には仕事と育児の両立をサポートする制度や  
研修、上司の理解が十分に整っているため、私も職場  
の方々に日々助けていただきながら、両立することが  
できています。これからは、同僚や部下が育児などで  
困った時に相談に乗ることができる存在になりたいで  
すし、こうした男性職員のネットワーク作りも進めて  
いきたいと考えています。



こども部  
こども育成課

**榎原 崇史**  
(事務職・平成19年度採用)